

＜栗東市の食に関する課題と現状の取組＞

課題1. メタボリックシンドロームの該当者の割合が、男女ともに全国、滋賀県と比較して高い。

市・関係機関における課題に対応した取組・事業	内容	対象
特定健康診査・特定保健指導における食習慣改善の指導	特定健康診査の結果、特定保健指導対象者に集団指導(教室)や個別指導(業者委託含む)によってメタボリックシンドロームをはじめ生活習慣病の予防・改善のための食生活指導を実施します。	市民 (国民健康保険加入者)
生活習慣病相談の実施	生活習慣病に関する相談に、保健師、管理栄養士が対応し、一人ひとりに合った食生活改善のためのプログラムの提供と改善支援を行います。	市民
バランスのよい食事の啓発	栄養改善教室等を開催し、バランスのよい食生活の啓発を実施します。	市民
学区のお祭り等における食育啓発	学区のお祭り等で栄養バランスのとれた食事の展示、おやつの試食、野菜を使った簡単レシピの配布など、食への関心を高める取り組みを行います。	市民

＜課題を改善(解消)する新しい取組・手法＞

課題2. 若い年代の女性のやせが増えている、カルシウムの摂取量が少ない。

市・関係機関における 課題に対応した取組・事業	内容	対象
バランスのよい食事の啓発 (再掲)	栄養改善教室等を開催し、バランスのよい食生活の啓発を実施します。	市民
学区のお祭り等における食育 啓発(再掲)	学区のお祭り等で栄養バランスのとれた食事の展示、おやつの試食、野菜を使った簡単レシピの配布など、食への関心を高める取り組みを行います。	市民
食の提供	栄養バランスのとれた和食中心の給食や手作りおやつを提供し、健全な食嗜好・食習慣の育成に繋がります。	園児 職員
中学校1年生の食に関する指導	「丈夫な骨づくり」についての授業を通して、成長期にカルシウムが必要であることを学習します。	中学1年生 生徒

<課題を改善(解消)する新しい取組・手法>

課題3. 野菜の摂取量は315gと増加したが、国の平均摂取目標量である350gには届いていない。

市・関係機関における課題に対応した取組・事業	内容	対象
簡単野菜メニューの出前講座	家庭で野菜料理を1皿増やしてもらうために、お弁当向き簡単野菜レシピや、子どもの苦手な野菜を克服できるメニューについて講座を行います。	市民
「健康りっとう21」との連携(野菜たっぷりレシピの配布)	第2次健康りっとう21(栄養・食生活)の事業と連携して野菜たっぷりレシピを作成し、配布します。	市民
学区のお祭り等における食育啓発(再掲)	学区のお祭り等で栄養バランスのとれた食事の展示、おやつを試食、野菜を使った簡単レシピの配布など、食への関心を高める取り組みを行います。	市民
食の提供(再掲)	栄養バランスのとれた和食中心の給食や手作りおやつを提供し、健全な食嗜好・食習慣の育成に繋がります。	園児職員
給食だよりの作成(簡単レシピの記載)	家庭で実践してもらうために、野菜を使った朝ごはん簡単レシピを給食だよりに掲載し、配布します。	保護者
小学5年生の食に関する指導	特別給食(ほのぼの鍋給食)を食べる時に、野菜の体内での働きを知り1日の摂取量を実際の野菜を使って学習します。	小学校5年生児童
学校給食への食材供給推進	学校給食への供給食材の増加を図ります。	市民(農業者)
つどいの広場「にこにこ広場」の実施	初期、中期、後期に分けた離乳食パネルやレシピを紹介し、作り方のポイントを管理栄養士から学びます。	0歳児親子

<課題を改善(解消)する新しい取組・手法>

課題4. 20歳代の朝食欠食率が高い。特に男性は40%を上回っている。
 (中学生、高校生と年齢が上がるにつれて朝食を欠食する人の割合が高くなる)

市・関係機関における 課題に対応した取組・事業	内容	対象
バランスのよい食事の啓発 (再掲)	栄養改善教室等を開催し、バランスのよい食生活の啓発を実施します。	市民
「児童生徒の朝食摂取状況調査」による食育の推進	滋賀県教育委員会「小・中・高(全日制)児童生徒の朝食摂取状況調査」を継続して実施し、基本的な生活習慣の定着に役立てていきます。 調査結果を取りまとめ、各校の改善に向けた工夫を呼びかけます。	小・中学生 (約6,700人)
食に関する啓発活動	給食献立表の配布、規則的な食生活に関わる情報を記載した給食だよりの配布など食への関心を高める取り組みを行います。	保護者
給食だよりの作成(再掲) (簡単レシピの記載)	家庭で実践してもらうために、野菜を使った朝ごはん簡単レシピを給食だよりに掲載し、配布します。	保護者
園での食についての教育・啓発	園において朝ごはんの重要性や規則的な食生活について教育・啓発を行います。	園児
<課題を改善(解消)する新しい取組・手法>		

課題5. 共食する機会の確保。

市・関係機関における 課題に対応した取組・事業	内容	対象
健康推進員による各種料理教室	「おやこの料理教室」「乳製品をたっぷり使った料理教室」等各種料理教室を、各種団体と協働するなどして実施します。	市民
食の提供	給食を通して、友達や先生とコミュニケーションを図り、食を楽しむ機会に繋がります。	園児
クッキング活動	異年齢の園児や保護者、農業者(地域住民)を招き、園で栽培した作物を調理する機会をつくり、交流を深めます。	園児 保護者 農業者
子育て講座の充実「離乳食講座」の実施	離乳食の作り方の基本、管理栄養士による出汁の取り方、おかゆの作り方、取り分け方法について試食、実践を交えた講話を行います。	初めての子育て親子(4か月～10か月)
親子ベーキング教室	パンづくりを通して、食への意識・理解を深め食育を身につけ、また作業を通してふれあいや協調性の大切さを学び、作りあげた達成感と食べる喜びを体験します。	親子

<課題を改善(解消)する新しい取組・手法>

課題6. 食育への関心が低い。

市・関係機関における 課題に対応した取組・事業	内容	対象
食育月間、食育の日の周知と食育の取組の紹介	食育月間(6月)、食育の日(毎月19日)の周知を図るとともに、食育月間等に食育推進計画や、食育の取り組みを紹介する記事を広報に掲載することにより食育への関心を高めていきます。	市民
食育の日の啓発活動	食育の日(毎月19日)に地域のスーパーマーケットで、食育の日の周知や、家族だんらんでの食事について啓発活動を行います。	市民
「食育の日」の取り組みによる食育の推進	小中各校において、「食育の日」の実施計画を立案、実施し、食育を推進します。	小・中学生 (約6,700人)
小学校における給食週間における取り組みの推進	全国学校給食週間に合わせて、各小学校において「給食感謝週間」として、生産者の方、調理をしてくださる方など、給食に関わる人への感謝を表すなど、食について考える取り組みを実施します。	小学生 (約4,600人)
食に関する啓発活動(再掲)	給食献立表の配布、規則的な食生活に関わる情報を記載した給食だよりの配布など食への関心を高める取り組みを行います。	保護者
食育会議の実施	各園の食育活動について情報交換を行う場とし、後に食育計画に反映・充実を図ります。	職員
食育講座の実施	管理栄養士等による食育講座を開催し、乳幼児期の規則的な食生活について伝えます。	園児 職員 保護者
育児講座の実施	管理栄養士等による育児講座を開催し、乳幼児期の食事やおやつについて正しい知識や情報を伝えます。	未就園児保護者
小学校3年生、6年生、中学校1年生の食に関する指導(一部再掲)	食への関心を高めるため、「食べ物の3つの働き」、「和食をすすんで食べる工夫」、「丈夫な骨づくり」について学習します。	小学校3年生、6年生児童 中学校1年生生徒
施設見学の実施	施設見学を通じて、食への興味や関心を深めるとともに、食に対する感謝の気持ちが育めるように学習します。	園児・児童・生徒・市民
子育て相談「来館・電話」	卒乳断乳の方法、食具の使い方、咀嚼に関する事など。離乳食や幼児食に関する相談への対応または支援を行います。	乳幼児保護者
食育栄養講座	はつらつ教養大学の講座の一環として、食生活から健康を考えるていただき、健康寿命を延ばしいきいきと日々の生活を送ることを目指します。	市民(高齢者)
<課題を改善(解消)する新しい取組・手法>		

課題7. 食品ロス削減の推進。

市・関係機関における 課題に対応した取組・事業	内容	対象
学校給食残さい(副食の残食) 率の追跡と啓発	小・中学校の「給食残さい(副食の残食)率」の調査を継続して実施し、課題を明確にします。	小・中学生 (約6,700人)
給食会議の実施	残渣調査の結果を評価し、各園の要望も検討しながら、園児の嗜好や成長に合わせた調理方法や献立作成を実施します。	園児
平和学習推進事業	平和学習の一環として、戦時中の食事を体験し、物のありがたさを知り、食べ物を大切にする心を養う。	小学生・保護者

<課題を改善(解消)する新しい取組・手法>

課題8. 地産地消の実践。郷土料理の継承。栗東市の名産がわからない。

市・関係機関における 課題に対応した取組・事業	内容	対象
完全米飯給食の実施	栗東産米を使用し、地産地消に努めます。	園児 職員
「りっとう栗太郎かぼちゃ」の栽培	園で「りっとう栗太郎かぼちゃ」を栽培し、栗東ブランド農産物について情報発信し、地産地消を推進します。	園児 保護者
小学4年生の食に関する指導	昔の栗東の名物であった「菜めし」と「田楽」について学習し、実際に食する体験を行っています。	小学校4年 生児童
環境こだわり農産物の支援	滋賀県が独自に定めた要件を満たして栽培された農産物(滋賀県環境こだわり農産物)への支援を行います。	市民(農業 者)

<課題を改善(解消)する新しい取組・手法>

課題9. 調理体験が不足している。

市・関係機関における 課題に対応した取組・事業	内容	対象
健康推進員による各種料理教室(再掲)	「おやこの料理教室」「乳製品をたっぷり使った料理教室」等各種料理教室を、各種団体と協働するなどして実施します。	市民
「中学生のお弁当づくり調査」 による食の自立の促進	食の自立を図るとともに、世話になる方々への感謝の気持ちを育むため、「中学生のお弁当づくり調査」を実施し、弁当を自分で作ることを推奨します。	中学生 (約2,100人)
クッキング活動(再掲)	異年齢の園児や保護者、農業者(地域住民)を招き、園で栽培した作物を調理する機会をつくり、交流を深めます。	園児 保護者 農業者
ふれあい料理教室	夏期休業期間中に料理教室を開催し、調理体験をとおして、食への興味・関心を高めます。	小学生と保護者

<課題を改善(解消)する新しい取組・手法>